

# KONDOTEC REPORT 第58期中間報告書



平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6% [www.team-6.jp](http://www.team-6.jp)

コンドーテックは地球温暖化防止のための国民的プロジェクト「チーム・マイナス6%」に加盟し、企業理念にあります「豊かな社会づくりに貢献します」を実践すべく環境問題に取り組んでおります。



コンドーテック株式会社

証券コード 7438

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ここに当社第58期中間期（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）の営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

平成21年11月



代表取締役社長 菅原 昭

## 当中間期の業績

平成21年9月中間期の業績結果

**売上高** **13,427百万円**  
(前年同期比△20.6%)

**営業利益** **421百万円**  
(前年同期比△65.7%)

**経常利益** **428百万円**  
(前年同期比△65.2%)

**当期純利益** **341百万円**  
(前年同期比△51.2%)

### 【売上高】

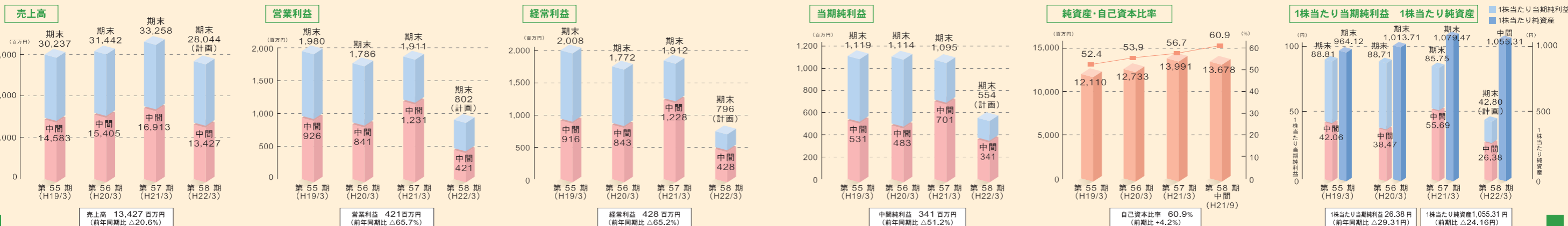
当中間期のわが国経済は、輸出や生産が増加していることなど一部に景気持ち直しの兆しが見えるものの、実態経済は依然として厳しい状況にあり、企業収益が低迷するなかで、設備投資の抑制や雇用情勢の悪化など、先行き不透明感を強めながら推移しております。

当社関連業界におきましては、企業の設備投資の抑制により建築物の着工は低迷し、同業他社との販売競争に一層拍車がかかるなど、当社を取り巻く環境は厳しい状況で推移しております。

このような状況のもとで、当社は製品の拡販、新規開拓や休眠客の掘り起こし、販売先におけるインストアシェアの拡大など諸施策を講じてまいりました。第1四半期（平成21年4～6月）におきましては、前第4四半期（平成21年1～3月）と比較して、販売数量と販売価格はともに減少しておりましたが、第2四半期（平成21年7～9月）には前述の諸施策が奏功し、販売数量は増加に転じております。その結果、当中間期の売上高は製品が2,750百万円（前年同期比26.9%減）、商品が10,676百万円（同18.8%減）となり、売上高合計は13,427百万円（同20.6%減）となりました。

### 【利益】

利益につきましては、競争激化による販売価格の下げ圧力は依然として厳しく、当中間期の売上総利益率は21.7%となりましたが、鋼材などの原材料や仕入商品の価格引下げに努め、第2四半期（平成21年7～9月）には第1四半期（平成21年4～6月）の21.3%から0.8ポイント上昇し、22.1%となりました。販売費及び一般管理費におきましては、役員報酬の減額をはじめ販売管理費の削減を全社的に取り組みました結果、2,490百万円（同6.8%減）となりました。その結果、営業利益は421百万円（同65.7%減）、経常利益は428百万円（同65.2%減）、中間純利益は341百万円（同51.2%減）となりました。



▶▶▶ 通期の見通し

平成 22 年 3 月期の通期業績予想

**売上高** **28,044百万円**  
(前期比△15.7%)

**営業利益** **802百万円**  
(前期比△58.0%)

**経常利益** **796百万円**  
(前期比△58.3%)

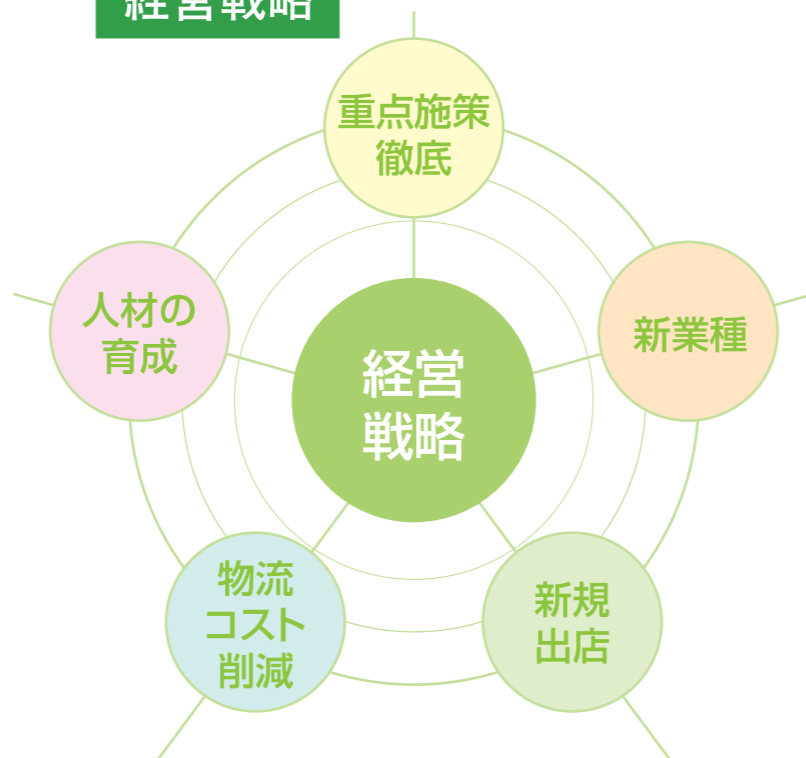
**当期純利益** **554百万円**  
(前期比△49.4%)

通期の見通しにつきましては、世界的な金融危機による国内外の景気低迷は当面続くものと見込まれ、公共投資の見直しや民間企業の設備投資がさらに不透明な状況となっております。

当社の関連業界におきましては、建築物件の減少により価格競争は今後さらに激しくなり、予断を許さない状況が続くと思われます。

このような状況のもとで、当社は次のような経営戦略を進め、業績向上と業容拡大を図ります。

**経営戦略**



**1 重点施策の徹底**

利益率の高い自社製品・輸入商材・新商材の拡販及び新規販売先の開拓という4つの重点施策を徹底し、既存市場でのシェアアップを図ります。

**2 新業種への事業拡大**

環境、街路・緑化、産業廃棄物などの新業種への事業の拡大を図っております。  
また、「ホームセンター事業部」は従来の商流とは別に販売の拡大を図り、順調に業績を上げております。

**3 新規出店による販売力の増強**

今後の成長を確保するためには、在庫を持ち、即納体制を整えた地域密着型の「店舗展開」が必要不可欠と考えています。  
なお、当期については未曾有の経済危機につき、出店を現在のところ、見合わせております。

**4 物流コストの削減**

中国の物流倉庫にて、現地生産の商品を現地で仕分けし、日本全国の当社営業拠点へ直送することにより、「輸入商材の比率アップ」と「日本国内での物流コスト削減」に貢献しております。

**5 人材の育成**

厳しい経営環境の中、業界の勝ち組として勝ち進むためには「人材の育成」が不可欠であると考えております。  
そのため、新入社員からの一貫教育としての若手社員の育成研修や新任管理者研修、営業・製造・業務・事務部門の専門能力向上研修、ジョブローテーション、自己能力開発のための通信教育などにより、より高い成果を生み出し、次代を担うことができる人材の育成に努めております。

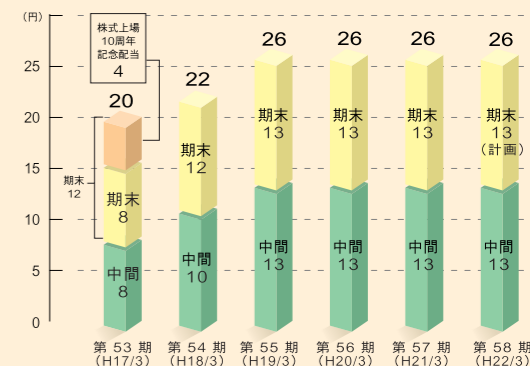
▶▶▶ 配当金

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な施策として位置づけ、「収益の向上」と「企業価値の増大」を図りながら、配当することを基本方針としております。

この方針のもと、平成 22 年 3 月期の中間配当金は 1 株につき 13 円とさせていただきます。

- 1. 中間配当金 1 株につき 13 円
- 2. 支払開始日 平成 21 年 11 月 27 日 (金)

1 株当たり配当金



## TOPIC 1 社会貢献活動の実施

コンドーテックは良き企業市民として、地域社会の発展と豊かな社会づくりに貢献します。

### ● 清掃活動の実施



社長を筆頭とした本社周辺拠点の社員約40名で、9月に本社から往復4kmの道のりの清掃活動を行い、地域の美化に勤めました。

### ● 募金型自動販売機の導入

売上の1%が「緑の募金」に寄付される、募金型の自動販売機を本社1階に設置いたしました。緑の募金は身近な地域や国内外の森づくりの活動の活性化に役立てられています。



### ● キャップ回収活動



ゴミとして燃焼破棄されるペットボトルキャップを分別回収し、リサイクル業者に引き取られた売却益をワクチンの購入代金として寄付することを目的としたキャップ回収活動を始めました。

◆全拠点で回収活動を実施しております。この活動にご協賛いただける方は、多少に関わらず、ぜひお近くの拠点にお持ちください。

## TOPIC 2 '09 鉄構技術展

東京ビックサイトで開催された鋼構造物の関連商材の総合展示会「鉄構技術展」に出展いたしました。期間中は500名を超える方々にブースにお越しいただき、コンドーテック製品の魅力をお話させていただきました。ご来場いただきました皆様、ありがとうございました。



【実施概要】  
日 時：平成21年7月22日～25日  
主 催：株式会社鋼構造出版  
会 場：東京ビックサイト  
総来場者数：(国内外から) 約23,600名

## TOPIC 3 個人投資家向け会社説明会実施

### 【実施概要】

日 時：平成21年7月14日  
主 催：日本証券アナリスト協会(大阪)  
会 場：TKP大阪淀屋橋ビジネスセンター  
出席者数：約110名



大阪地区にて個人投資家の皆様を対象とした会社説明会を開催いたしました。今後も、個人投資家の皆様との対話を継続していきたいと考えております。

当社では、様々な場面で使用されますおよそ40,000点の製・商品を扱っております。その中の一部のアイテムをピックアップし、ご紹介いたします。

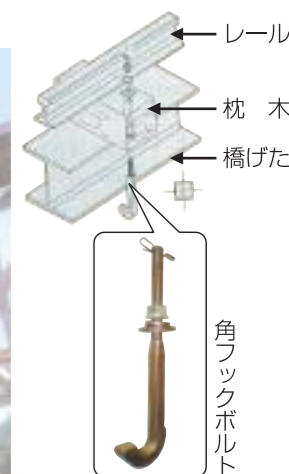
## ▶▶ 角フックボルト

### — 揺るがない安心 — コンドーテックの角フックボルト

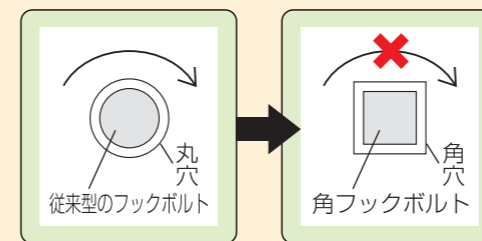
鉄道列車の安全な運行には、正しく整備・点検の行われたレールが必要不可欠です。日々、鉄道橋では、列車がレールを通過するたびに激しい揺れや振動が発生します。このため、橋げたと枕木を固定するボルトには、揺れや振動に耐えうる弾性と柔軟性が必要となります。

当社のオリジナル製品として開発された「角フックボルト」は、列車の振動などによりナットに緩みが生じた場合にも、ボルト本体は回転せず、枕木から外れることを防止します。また、本体は、当社九州工場にて熱間型打ち鍛造の製造工程で造られており、十分な強度を保持することが可能です。

この角フックボルトは、財団法人「鉄道総合技術研究所」の性能評価において、必要条件を全て満たし、実軌道で使用可能との高評価を得た当社の特許製品です。現在、全国の鉄道会社で幅広く採用され、角フックボルトは鉄道の安全な運行の一役を担っております。



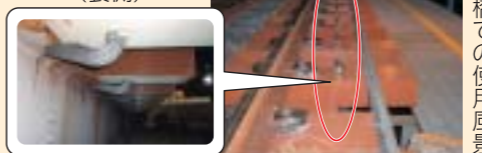
(上から見た図)



### ● 他のボルトとどこが違うのですか？

従来のボルトの本体は丸型であり、列車の振動によりナットが緩むとボルトが回ってしまい、頻繁に点検作業が必要でした。しかし、当社で開発された角フックボルトは枕木に角穴を開け、ボルト本体も角型となっているため、ボルト本体の回転を防ぎ、点検作業を従来のものと比べ大幅に減らすことができます。また、「丸穴用」も新開発し、既設の丸穴の枕木にも対応することができるようになりました。

(裏側)



鉄道橋での使用風景

### ● どのような所で使われているのですか？

JR東日本山形新幹線の鉄道橋部分に採用されている他、全国のJR、私鉄、第三セクターなどの鉄道会社で幅広く使用されております。約28万本、約3,000ヶ所の採用実績が当社の角フックボルトの信頼の証です。

角フックボルト知的所有権  
・特許 第4210882号 鉄道の橋枕木固定用フックボルト(共願)  
・実用新案 第3101165号 角フックボルトを用いた橋梁用丸穴付枕木固定構造  
・意匠 第1127022号 接ぎ手部材  
・意匠 第1127452号 接ぎ手部材

■ 中間貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当中間期 (平成21年9月30日現在)	前期 (平成21年3月31日現在)	増減
<b>■ 資産の部</b>			
<b>流動資産</b>	13,846	15,233	△ 1,387
現金・預金	3,726	3,898	△ 172
① 受取手形・売掛金	7,538	8,806	△ 1,268
② たな卸資産	1,857	2,186	△ 328
信託受益権	463	—	463
その他の流動資産	304	395	△ 91
貸倒引当金	△ 43	△ 53	9
<b>固定資産</b>	8,602	9,433	△ 831
<b>有形固定資産</b>	7,613	7,733	△ 119
建物	1,969	2,024	△ 54
土地	4,799	4,799	0
その他の有形固定資産	843	909	△ 65
<b>無形固定資産</b>	105	84	21
<b>投資その他の資産</b>	883	1,616	△ 733
③ 投資有価証券	638	1,442	△ 804
その他の投資等	344	266	78
貸倒引当金	△ 100	△ 92	△ 7
<b>資産合計</b>	<b>22,449</b>	<b>24,667</b>	<b>△ 2,218</b>

Point ① 受取手形・売掛金

売上高の減少に伴い、減少いたしました。

Point ② たな卸資産

在庫削減に努めた結果、減少いたしました。

Point ③ 投資有価証券

投資有価証券の時価評価替えに伴い、投資有価証券の時価が下落したため、減少いたしました。

(単位:百万円)

科目	当中間期 (平成21年9月30日現在)	前期 (平成21年3月31日現在)	増減
<b>■ 負債の部</b>			
<b>流動負債</b>	7,397	9,096	△ 1,699
④ 支払手形・買掛金	3,666	4,104	△ 437
⑤ 未払金	2,867	3,589	△ 721
未払法人税等	200	388	△ 187
⑥ その他の流動負債	662	1,014	△ 352
<b>固定負債</b>	1,373	1,579	△ 205
退職給付引当金	1,072	1,004	68
その他の固定負債	300	575	△ 274
<b>負債合計</b>	<b>8,770</b>	<b>10,676</b>	<b>△ 1,905</b>
<b>■ 純資産の部</b>			
<b>株主資本</b>	14,903	14,730	173
資本金	2,328	2,328	—
資本剰余金	2,096	2,096	—
利益剰余金	10,977	10,804	173
自己株式	△ 498	△ 498	△ 0
評価・換算差額等	△ 1,225	△ 738	△ 486
⑦ その他有価証券評価差額金	350	828	△ 477
繰延ヘッジ損益	△ 6	2	△ 8
土地再評価差額金	△ 1,569	△ 1,569	—
<b>純資産合計</b>	<b>13,678</b>	<b>13,991</b>	<b>△ 313</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>22,449</b>	<b>24,667</b>	<b>△ 2,218</b>

Point ④ 支払手形・買掛金

商品及び原材料などの仕入の減少により、減少いたしました。

Point ⑤ 未払金

仕入の減少に伴い一括支払信託の残高が減少したことにより、減少いたしました。

Point ⑥ その他の流動負債

賞与引当金などの減少により、減少いたしました。

Point ⑦ その他有価証券評価差額金

投資有価証券の時価評価替えに伴い、投資有価証券の時価が下落したため、減少いたしました。

■ 中間損益計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前中間期 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	増減
⑧ 売上高	13,427	16,913	△ 3,486
売上原価	10,514	13,011	△ 2,496
⑨ 売上総利益	2,912	3,902	△ 990
⑩ 販売費及び一般管理費	2,490	2,671	△ 180
<b>営業利益</b>	<b>421</b>	<b>1,231</b>	<b>△ 809</b>
<b>営業外収益</b>	<b>28</b>	<b>23</b>	<b>4</b>
受取利息配当金	1	1	0
仕入割引	7	12	△ 5
その他の営業外収益	19	10	9
<b>営業外費用</b>	<b>22</b>	<b>26</b>	<b>△ 4</b>
売上割引	17	21	△ 4
その他の営業外費用	4	4	△ 0
<b>経常利益</b>	<b>428</b>	<b>1,228</b>	<b>△ 800</b>
<b>特別利益</b>	<b>178</b>	<b>0</b>	<b>178</b>
投資有価証券売却益	178	0	178
<b>特別損失</b>	<b>0</b>	<b>19</b>	<b>△ 19</b>
固定資産除売却損	0	5	△ 4
たな卸資産評価損	—	14	△ 14
<b>税引前中間純利益</b>	<b>606</b>	<b>1,209</b>	<b>△ 603</b>
法人税・住民税及び事業税	184	436	△ 252
法人税等調整額	80	71	8
<b>中間純利益</b>	<b>341</b>	<b>701</b>	<b>△ 359</b>

Point ⑧ 売上高

建築物着工の低迷に伴い、販売競争が続く厳しい状況下、当中間期の売上高は前年同期比 20.6% 減少となりましたが、第2四半期(平成21年7~9月)には、製品の拡販、新規開拓、休眠客の掘り起こしにより、販売数量が増加に転じ、持ち直しに向かっております。

Point ⑨ 売上総利益

当中間期の売上総利益率は前年同期の 23.1% から 1.4 ポイント低下し 21.7% となりましたが、鋼材などの原材料や仕入商品の価格引き下げに努めた結果、第2四半期(平成21年7~9月)は 22.1% となり、改善しております。

Point ⑩ 販売費及び一般管理費

役員報酬の減額をはじめ、販売管理費の削減を全社的に取り組みを行い、前年同期比 6.8% 減少となりました。

■ 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前中間期 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
⑪ 営業活動による キャッシュ・フロー	367	163	2,196
⑫ 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 370	△ 264	△ 391
⑬ 財務活動による キャッシュ・フロー	△ 168	52	△ 115
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 0	—	0
現金及び現金同等物の 増減額	△ 172	△ 48	1,690
現金及び現金同等物の 期首残高	3,898	2,208	2,208
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	3,726	2,159	3,898

当中間期における現金及び現金同等物の中間残高は 3,726 百万円となり、前期末と比べ 172 百万円減少となりました。主な要因は次のとおりです。

Point ⑪ 営業活動によるキャッシュ・フロー

仕入債務及び賞与引当金の減少さらに法人税等の支払など減少要因はありましたが、売上債権やたな卸資産の減少などの増加要因により、367 百万円の収入となりました。

Point ⑫ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資有価証券の売却による収入がりましたが、機械装置や信託受益権の取得による支出により、370 百万円の支出となりました。

Point ⑬ 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払いにより、168 百万円の支出となりました。

- ▶ 社 名 コンドーテック株式会社  
(英文名 KONDOTECH INC.)
- ▶ 本 社 大阪市西区境川二丁目 2 番 90 号
- ▶ 設 立 昭和 28 年 1 月 14 日
- ▶ 資 本 金 23 億 2,810 万円
- ▶ 従 業 員 575 名

- ▶ 役 員
- 代表取締役社長 菅 原 昭 茂
- 常務取締役 平 田 朋 也
- 常務取締役 安 藤 滄 也
- 常務取締役 滝 水 爾 重
- 取締役 堀 江 重 男
- 取締役 近 藤 勝 彦
- 取締役 山 田 清 人
- 取締役 矢羽田 秀 晴
- 取締役 宮 崎 夫 勝
- 取締役 (社外取締役) 徳 田 哲 夫
- 常勤監査役 河 瀬 龍 示
- 監査役 (社外監査役) 稲 田 諒 一
- 監査役 (社外監査役) 北 山 諒 一

主要な事業内容

当社は、土木用・建設用・荷役用・船舶用金物、鋼材、溶接資材及び鋸螺の製造販売並びに輸出入を主な事業としております。

主な製品・商品 | The main product and commodity

建設資材

仮設足場、当板・本体、丸セパレーター、Uクリップ、アンカーインサート、建設板物、現場用品、河川・港湾土木資材、コンテナバッグ



金物類

ターンバックル、ブレース、シャックル、ワイヤクリップ、ロープ附属品、ウィンチ・ブロック類



ワイヤロープ

JISロープ、加工ロープ、繊維ロープ、ベルトスリング、モック、鋼より線



鋸 螺

ハイテンションボルト、ボルトナット類、アンカーボルト、Zマーク金物、Oマーク金物



チェーン

足場つりチェーン、ステンレスチェーン、強力チェーン、リンクチェーン、チェーンスリング



その他

機械工具、施工用品、環境関連資材、街路・緑化資材

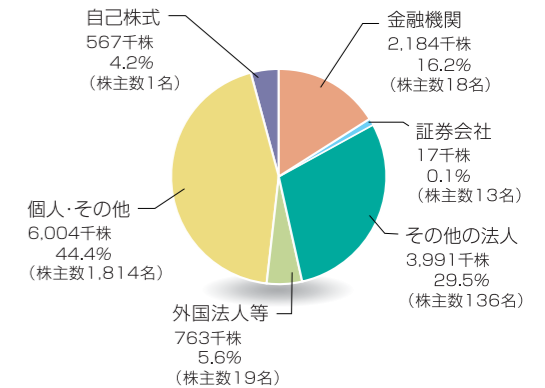


- ▶ 発行可能株式総数 30,000,000 株
- ▶ 発行済株式総数 13,528,500 株
- ▶ 株主数 2,001 名
- ▶ 単元株式数 100 株
- ▶ 大株主

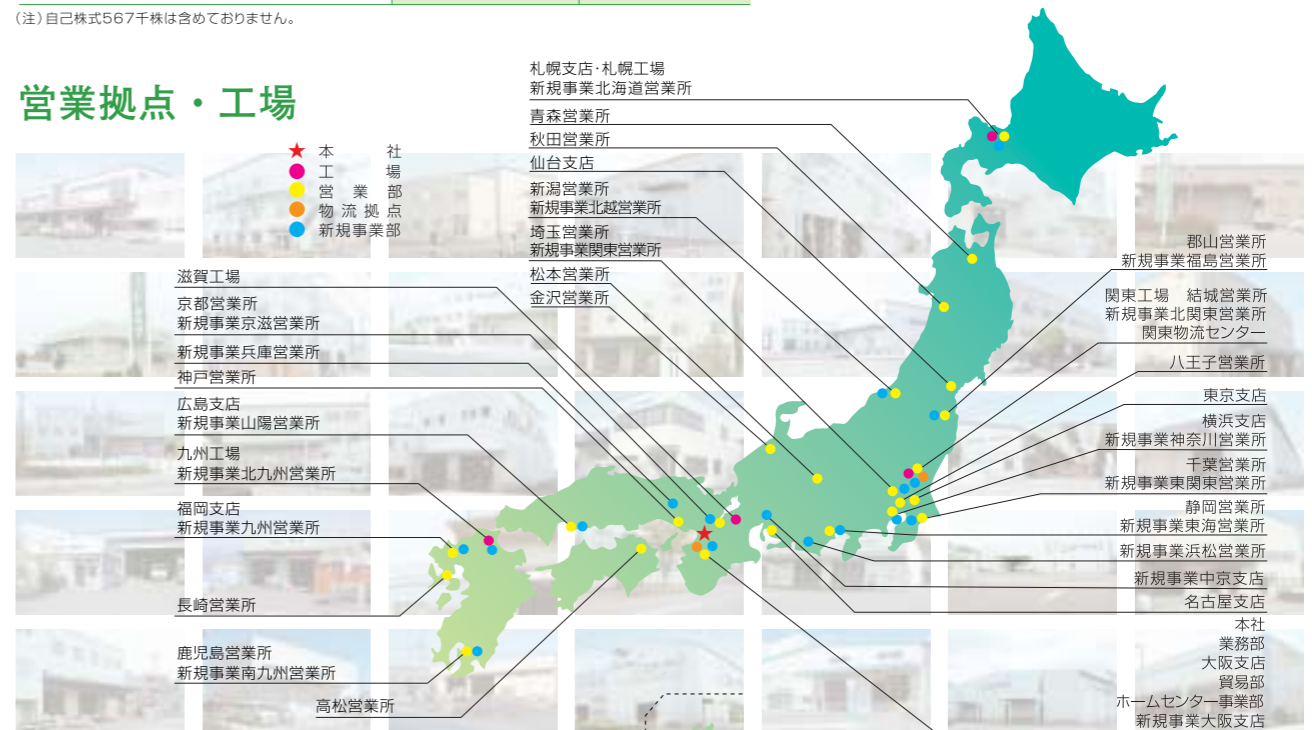
株主名	持株数	出資比率
(有) 藤和興産	1,507千株	11.6%
近藤 勝彦	667千株	5.2%
コンドーテック社員持株会	643千株	5.0%
大阪中小企業投資育成(株)	643千株	5.0%
ビービーイチフォーフィデリアーロープライズストックファンド	527千株	4.1%
(株)Fプランニング	450千株	3.5%
近藤 純位	401千株	3.1%
(株)三菱東京UFJ銀行	376千株	2.9%
近藤 延滋	376千株	2.9%
近藤 雅英	332千株	2.6%

(注) 自己株式567千株は含めておりません。

所有者別株式分布状況



営業拠点・工場



## ▶▶▶ コンドーテックホームページのご案内

決算ハイライト、決算説明会の動画配信、ニュースリリース、決算短信、有価証券報告書などの開示情報のほか、取扱製品・商品など様々なコンテンツをご用意しております。ぜひご覧下さい。



インターネットホームページ

<http://www.kondotec.co.jp>

コンドーテック

検索

## ▶▶▶ 株主メモ

**事業年度** 4月1日～翌年3月31日

**定時株主総会** 毎年6月

**基準日** 定時株主総会 毎年3月31日

期末配当金 毎年3月31日

中間配当金 毎年9月30日

その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

**株主名簿管理人**  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

**同連絡先** 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行業部  
☎ 0120-094-777 (通話料無料)

**上場金融商品取引所** 東京証券取引所市場第2部 大阪証券取引所市場第2部

### [株式に関する住所変更等のお届出およびご照会]

#### 証券会社でお取引をされている株主様

■郵便物送付先・電話お問い合わせ先  
お取引のある証券会社になります。

※未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行  
本店および全国各支店でお支払いいたします。

#### 特別口座に記録されている株主様

■郵便物送付先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

■電話お問い合わせ先 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)

■お取扱店 三菱UFJ信託銀行株式会社 本店および全国各支店



**コンドーテック株式会社**

〒550-0024 大阪市西区境川二丁目2番90号  
TEL 06-6582-8441 ir24@kondotec.co.jp

2009年11月発行

当報告書には財政状態および経営成績に関する将来予測の記述が含まれています。

この前提および将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれています。



この印刷物は、環境に配慮し、大豆インキを使用しております。